

INFORMATION

新診療科長の紹介

●産科



産科長

杉山 隆

平成25年1月1日付で産科長を拝命いたしました杉山隆です。

私の主たる勤務場所は、周産母子センター産科病棟です。今後の私の役割として、大学病院周産母子センターの患者さんにベストの医療を提供することが第一であると考えますが、それと同様に大切なのが、現場の医療者が安心して安全に医療を行えるような環境作りであると考えています。この環境作りがマンパワーの維持と以下に述べる病院内外の連携力の強化と大学病院としての機能強化につなげることができるからです。

センター内の連携は医師及び助産師・臨床心理士等は

もとより、新生児の先生との連携が重要です。さらに当院では、母体の基礎疾患合併の方が多く、胎児異常や救命疾患の対応も行っています。したがって、各専門内科、精神科、外科、IVR科、救命救急センター、集中治療科、そして麻酔科の先生方や検査技師の方々の連携なしには診療を行っていくことはできません。年間約1,000件の分娩（うち400件は帝王切開）に加え、緊急搬送症例が200件程あり、病棟は1日中休む暇なしの状態です。さらに当院は、宮城県の3つの基幹周産期医療センターのうちの1つとして機能しています。院内だけの連携のみならず、3つの基幹センター間の連携はもちろん、他の2次施設、1次施設間の連携を取ることが、宮城県下の周産期医療の維持・発展に欠かせないと思います。

このような状況下、現場の医療者がモチベーションを持って医療を行える場の提供こそが患者さんのために最高の医療提供につながると考えております。現場で必死に頑張る医療者が大学病院としての臨床・教育・研究機能のバランスを図れるよう、調節する役割もあると考えておりますので、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。